

実践 南九州市立知覧小学校 ゆずり葉読書会

1 はじめに

知覧小学校は、南九州市知覧町の中心に位置し、創立 146 年の歴史と伝統のある小学校である。本年度の児童数は 243 人である。「ぼくの花、わたしの木、やさしさはぐくむ楽しい学校」を学校自慢に、朝は元気のよいあいさつに始まり、すみずみまで心を届ける美化活動など心豊かな児童育成を図っている。

2 小学校が実施している読書活動

(1) 読み聞かせ

ア 図書委員会…読書旬間など年に 3 回行っている。

イ 教職員…朝の読書タイムに各教室や隣接する幼稚園へ出向き、年 7 ~ 8 回行う。

ウ ゆめさと隊（知覧図書館おはなしボランティア）…年 3 回 ~ 4 回来て頂いている。

エ 保護者…読書旬間中に希望者を募り、朝の読書タイムに行う。

オ ゆずり葉読書会…毎月の読み聞かせなどを行っている。

(2) 6 月の読書月間、11 月の読書旬間…「読書ビンゴ」や本の紹介を書いて掲示する「読書の森」図書委員会の読み聞かせなど。

(3) 読書まつり「どんぐりまつり」…11 月に 1 時間の授業を利用して全児童で行う。

(4) 親子読書カード…毎月 23 日は「ノーテレビデー」として、親子で読書をし、カードに記録する。

(5) 「おすすめの本カード」必読書…教科書に載っている本を中心に必読書を選び、コーナーを設けている。カードを配布して達成賞を目指す。

(6) 読書貸出目標冊数…低学年は 90 冊、中学年は 80 冊、高学年は 70 冊と定めている。

3 ゆずり葉読書会の実践

(1) ゆずり葉読書会とは

本に親しみ、お話の世界を好きになってほしいと願う保護者が集まり、平成元年に親子読書会として発足した読書グループである。その後活動の内容を読書ボランティアとして現在に至っている。毎年会員を募集して 5 月から活動をスタートしている。

(2) 活動内容

ア 毎月 1 回、朝の読書タイムの読み聞かせと話し合い

イ 5 月 ~ 6 月にゆずり葉読書会主催の「ホタルお話会」開催

ウ 11 月の校内読書まつり（どんぐりまつり）でお話ブースへの参加

エ 知覧図書館のステップアップセミナー等への参加

オ 公共図書館のお話会への参加

カ 「ゆずり葉通信」の発行（毎月発行）

キ 毎月の活動の様子を掲示、図書館だよりの中で紹介など

(3) 活動の特色

ア 無理のない活動

仕事を持っている保護者がほとんどなので、特に毎月の読み聞かせは、都合のつく人がするなど、負担のないように計画を立てて行う。

読み聞かせの後は必ず集まって、情報交換を行い、次の活動に生かしている。

イ 毎月の読み聞かせ

朝の読書タイムの時間に、月毎に低学年、中学年、高学年の教室に入る。



ウ 「ホタルおはなし会」

5～6月のホタルの飛び交う頃、学校敷地内にある「ホタル池」周辺でホタル鑑賞会と夜のおはなし会を開催している。

本年度は会員の子どもたちが楽器演奏をした。



エ 読書祭り「どんぐりまつり」への参加

11月の読書旬間中に全児童で取り組む読書祭りに、2～3つのおはなしブースで実演をした。読書祭りでは、毎年テーマを設けて取り組んでおり、本年度は「音楽」をテーマにパネルシアター、絵本の読み聞かせを行った。



オ 公共図書館の「おはなし会」への参加

本年度は、知覧図書館の「クリスマスおはなし会」に参加していろいろな道具で作った楽器を使ってお話を披露した。

カ 親子ふれ合い活動

毎年夏休みを利用して、県立図書館などに出かけて親子で読書に触れる機会を設けている。

4 おわりに

知覧小学校は、PTA活動が盛んで、保護者がとても協力的である。ゆずり葉読書会もその一つで、26年の歴史をしっかりと引き継いでいる。毎月の朝の読み聞かせや読書祭りなど、学校になくはないグループとして浸透し、お話の世界を楽しむ児童の姿が見られる。

本年度、県子どもの読書活動推進優良団体の表彰を受けることができた。これまで活動されてこられた先輩保護者の地道な活動と、熱い思いのおかげだと感謝している。

これからも、読み聞かせを通して、お話や読書の楽しさを子どもたちに伝えることができる読書グループとして取り組んでいきたい。